



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

讃美★イ162 まぼろしの景をおいて	—	同
主の祈り	—	同
讃美★新301 わが行道つゆに	—	同
交読詩篇 71:1~15	—	同
祈禱		渡邊頼子師
聖書 エレミヤ 9:1~26		司会者
説教 「エレミヤの涙」		渡邊貞雄師
献金★新382 心から願うのは	個人個人で	
栄新 63 父、御子、御霊の	(起立) 一同	
祝禱		★印 = 全節朗読
報告		司会者
受付=なし / 操=渡邊師 / A=なし / 報=牧師		

「誇る者は、ただ、これを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていることを。わたしは主であり、地に恵みと公正と正義を行う者であるからだ。」

まことに、わたしはこれらのことを喜ぶ。」

エレミヤ 九・二四



〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2022年5月8日 VOL. 45-19 No. 2375

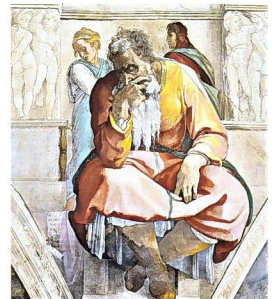
URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 本日は米国の教会から始まった、世界中で祝われる「母の日」記念。ご労の多いお母さんに感謝の心!
- ▼ 今朝の礼拝テキストは、エレミヤ 9:1~26 (新改訳) です。1節ずつの和訳の聖書もあります。
- ▼ 中部教区5月号祈禱課題 (CCPN誌) が発行されました。今週水曜の祈禱

会 (ZOOM) にも、お持ちより下さい。

- ▼ 今週のどこかで週報や資料などを、ポスティングする予定です。
- ▼ CCPN誌にもありますが、隣接地 (駐車場用) のため続けて覚えてお祈りください。大きな山がよい方向に導かれますように。



- 来週礼拝 **ダニエル 2:1~49**
- 主 題 「**ダニエルの知恵**」

にれ はみ

2022年5月1日
中部教区 合同礼拝
ヨハネ4：31～38
「えっ、もう収穫!？」
説教 渡邊 恵 樹 師



イスラエルの一年は9月～11月頃が秋、2月～4月頃が春、秋～冬までが雨季で春にも少し雨が降ります。

◎「念願のサマリヤ伝道」

イエス様が福音を伝えたいと願っておられたサマリヤは、軽蔑されていた地で伝道が困難とされていました。主は旅の疲れで井戸の側に座り、一人のサマリヤの女性と会話をされました。

◎「神様の念願」

主は食事を用意した弟子たちに「わたしには、あなたがたが知らない食べ物」と語りました。空腹を忘れ心を満たしたのは「神様の念願を果たした!」という深い満足でした。

◎「神様との関係が断たれた現代」

サマリヤの女性の支えは、伴侶者（異性）や神への信仰もあったが、どんな人にも悪い心、汚い心があり、救いを必要としています。

◎「えっ、もう収穫!？」

イエス様はすぐにも刈り入れだと語られましたが、弟子たちは「えっ、もう収穫!？」と驚きました。福音の種は預言者たちによって、サマリヤの人々

にも代々語り伝えられていた信仰がありました。困難に見えても宣教は、逆転する時が必ず訪れます。

◎「蒔く者と刈る者がともに喜ぶ」

イエス様はサマリヤ人たちが播いた種の収穫をし、弟子たちもイエス様のまいた種の収穫をして人々に洗礼を授けました。4章は蒔く者と刈る者が、ともに喜ぶことであふれています。働き手（教職）とともに喜びたいです。

「働き手のために祈る」…祈りには行動が伴い、それぞれみ心を行う主体者です。「献身者ができるように!」と祈り、神は祈りに応えてくださいます。

◎ 結論

ある男性が信仰を持ち、後になって我が家の先祖がキリシタンだったことが分かりました。日本にも先祖たちの祈りがありました。

主は「目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています」と語られました。私たちも種をまきましょう。蒔く者と刈る者とともに喜びたいと願います。